

主催者代表挨拶

こんにちは。ご安全に。安全衛生部会長をさせていただきます、大王製紙の杉浦でございます。本年も、新型コロナウイルス感染拡大に伴いまして、このような書面による開催実施となりましたが日頃より愛媛労働基準協会の活動に、ご理解とご協力を頂き、誠に有難うございます。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。

冒頭にも申し上げました通り、昨今の新型コロナウイルス感染状態は、医療者・高齢者向けのワクチン接種が始まったものの、まだまだコロナ禍以前の状況には、ほど遠い状況が続いております。これに伴い、会社・個人の活動が制限され、一般的に言われております”コロナストレス”が影響し、安全活動においても少なからず支障が発生していることと存じます。また、今年は早い梅雨入りもあり、蒸し暑さから入念な熱中症対策が必要となっております。

さて、直近の新居浜労働基準監督署・管内での労働災害発生件数は、全産業について、2019年421件(うち死亡6件)に対して2020年が476件(同4件)と増加しております。2021年に入りましてからも、4月末までで前年比では発生件数88件に対して120件と増加傾向が顕著となっており、コロナ禍の影響もありますが、労働災害対策が急務となっております。

発生している災害の傾向を確認いたしますと、

- ①過去に発生したことがある同様な災害
- ②災害対策が不十分で繰り返している災害
- ③トラブル異常時に『設備を止めず、助け・仲間を呼ばず、手を出す』災害

が多くみられております。災害発生後は、幾度なく対策を講じておりますが、『事前の一策、事後の百策に勝る』という言葉があります通り、皆様におかれましても他人事と思わず、安全点検、創意工夫による改善実行、安全教育による意識改善高揚を図っていただきたく存じます。

当四国中央支部では、労働災害を減らすべく、安全衛生関係の講習・熱中症対策、各種衛生教育等の講習を開催しております。また、会員各社で発生した災害事例を紹介しあい、自分たちの職場で同様の災害を起こさないよう議論する災害防止協議会も毎月開催しております。今後とも、より多くの方々に参加していただき安全意識の向上や作業の安全レベルアップ等、情報共有の場として活動していきたく考えております。

以上、簡単ではございますが、全国労働週間 準備月間実施に当たっての挨拶といたします。ご安全に。